

令和4年度 第2回 静岡市サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会
会議録

1 日 時 令和4年8月2日（火） 午後2時00分から午後3時40分まで

2 場 所 レイアップビル御幸町 5D会議室

3 出席者 (委 員) 木宮会長、池田副会長、石川委員、内海委員、
風岡委員、桂田委員、菅委員、黒瀬委員、佐潟委員、
佐藤委員、竹上委員、牧田委員、山室委員
(欠席：高田委員)

(事務局) 松浦企画局長、
鈴木企画課長、久野井課長補佐、乗松副主幹、渡邊主査
谷川スポーツ振興課長、田村係長
長澤スポーツ交流課長

4 傍 聴 者 8人

5 議 題 (1) 立地検討にあたっての要件及び評価について
(2) 市民・利用者アンケート（案）について

6 会議内容

(1) 開 会

【事務局（鈴木課長）】

- ・開会
- ・高田委員はご欠席のご連絡を頂いている。

【木宮会長】

- ・限られた時間ではあるが、活発にご議論いただきたい。

(2) 第1回の振り返り

【事務局（久野井補佐）】

- ・第1回検討会の意見と対応について説明（資料1）

【木宮会長】

- ・議題ではないが、前回会議のフォローアップとして説明いただいた。質問はあるか。

【委 員】

- ・(質問なし)

(3) 議 題

(3)-1 立地検討にあたっての要件及び評価について

【事務局（久野井補佐）】

- ・立地検討にあたっての要件及び評価について説明（資料 2、参考資料 2）

【木宮会長】

- ・最低限のスタジアム規模としてサンガスタジアムと同水準の 3.5ha 以上のスタジアムを作りたい、という認識。

【竹上委員】

- ・サンガスタジアムは関係者用の駐車場のみが含まれて 3.5ha となっており、観客用の駐車スペースとして面積を確保する必要があると考える。スタジアムに加えて、十分な駐車スペースを確保できる土地を要件にする必要はないか。
- ・JR 清水駅東口にあるエネオスが所有しているタンクは使っているのか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・立地によって、中心となる交通手段は異なる。まずは最低限のスタジアム規模を 3.5ha 以上と設定し、駐車スペース等の付帯施設に関する面積は今後の評価項目として検討していきたい。
- ・正確な情報ではないが、東口のタンクは現在使われていないと聞いている。

【木宮会長】

- ・サンガスタジアムの 3.3ha の土地には関係者用の 73 台分の駐車場しかなく、観客用の駐車場は含まれていない。3.5ha というのはあくまでもスタジアムの最低基準として、3.5ha 以上の面積を検討したい。

【桂田委員】

- ・Jリーグのスタジアム基準として、「中心市街地から概ね 20 分以内で到着できること」「交流人口の多い施設に隣接していること」とあるが、あくまでも推奨で、必須条件ではないという理解で正しいか。

【佐藤委員】

- ・理想のスタジアムとして示しているものであるため必須条件ではないが、現状ではアクセスに難があるスタジアムが多いため、このように記載している。

【黒瀬委員】

- ・資料2の最終ページに評価イメージの記載があるが、○の数を単純に合算するものではなく、○の中にも優先順位があると思う。また△があった場合はどう解消していくかも含めて議論できると良い。

【事務局（久野井補佐）】

- ・ご発言いただいた通り、検討会での意見を踏まえて、総合的に評価していく考えである。

【池田委員】

- ・×がついたとしてもお金をかければ解決するケースもあると思う。コストという評価基準は必要なのではないか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・今年度の主となる目的は、有力な候補地を決めることであり、次年度以降の詳細な調査に繋げていくものと考えている。「不可能ではない立地」も含めて候補地として検討していきたい。

【池田委員】

- ・例えば、地盤が悪くても膨大なコストをかければ立地出来てしまう。コスト抜きで候補地選定した場合、ほとんどの候補地が「不可能ではない立地」になってしまうのではないかと心配である。

【事務局（久野井補佐）】

- ・今年度の目的は候補地を決めきるというわけではなく、深掘りをするための有力な候補地を決めることである。コストについては、深掘りをしていく際に議論していく。

【牧田委員】

- ・建設期間という評価基準も必要でないか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・候補地を選定していくなかで、ご指摘いただいたコストや期間などの解決しなければならぬ課題やその解決手段についても整理できればと考えている。

【木宮会長】

- ・評価項目は全てで 11 項目あるが、11 項目に加えて総合的な評価も加わるという理解で合っているか。

【事務局（鈴木課長）】

- ・想定している評価項目として 11 項目並べているが、この要素に入らないものは留意事項として付記が必要。

【佐藤委員】

- ・本検討会の名称は「サッカースタジアムを活かしたまちづくり検討委員会」であるため、サッカースタジアムをどうするかではなく、サッカースタジアムをどうまちづくりに活かしていくかという視点を忘れてはならない。地域課題をどう解決していくかも議論すべき。
- ・なお、本件で参考にしているサンガスタジアムは元々別の場所に計画していたものを自然保護の観点で場所を移した経緯がある。狭い土地に元の設計を活かしたこともあり、コンコースが狭すぎるという意見もある。一方、駅からは非常に近く、観客用の駐車場を確保しなくても問題ないのは評価できるポイントである。

【木宮会長】

- ・候補地選定の一つの条件としてまちづくりの視点を入れていくのは重要である。

【山室委員】

- ・商圈人口の議論も必要だと考える。立地によって大きくマーケットが異なるはずなので、その比較を入れてほしい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・承知した。周辺の人口についての情報を評価項目内に加える。

【佐潟委員】

- ・想定される具体的なニーズや試合以外の用途を考えると、評価項目をみたときに何を重視するか変わる。重みづけ次第で評価の仕方も変わると思われる。

【事務局（久野井補佐）】

- ・何を重視するかはアンケートもひとつの参考になると考えている。

【木宮会長】

- ・アンケートで重視すべき項目が明確になる。今は具体的な候補地が出ていないため、議論しづらい部分もあるが、最低限の要件を満たした候補地がいくつか出てくれば、重みづけも含めた議論も出来るようになる。

【桂田委員】

- ・土地の特性について、地質や地盤、土壤汚染についても評価項目に入れてもらいたい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・承知した。評価項目として検討したい。

【風岡委員】

- ・スタジアムが駅から近ければ駐車場はそれほど広くなくてよいと思うが、そうでないなら駐車場は必要になると考える。
- ・周辺に商業施設がある立地ならスタジアム単体で問題ないが、商業施設含めた複合施設にするのであれば 3.5ha では厳しいように感じる。

【木宮会長】

- ・今の IAI スタジアムの駐車場は 700 台とあるが、700 台だと広さはどの程度になるか。また、現状では 700 台程度の駐車場で足りているのか。

【事務局（渡邊主査）】

- ・駐車場の広さはおよそ 1ha 程度。スタジアムの土地以外で民間の貸し駐車場もある。スタジアムの土地にある 700 台の駐車場では現状足りていないという認識である。

【山室委員】

- ・700 台では非常に不足していると考え。関係者だけで半分は使うことになる。シャトルバスを停める場所も含めて全く足りていない状況である。

【木宮会長】

- ・今の IAI スタジアムのような公共交通からのアクセスが不十分な立地だと、駐車場としてさらに数 ha の土地があると望ましいということになる。立地次第だが、最終的には広ければ広いほどいいというのは間違いない。

【石川委員】

- ・公共交通機関と自家用車のどちらを重視するか考えると、今後 10 年先を考えると環境への配慮という視点は重要と考える。その観点では公共交通機関を重視してもらいたい。

【竹上委員】

- ・まちづくりという側面では、スタジアム周辺の活性化として大型商業施設の誘致が考えられるが、大型商業施設を誘致したときに既存の商店街が衰退する可能性がある。どのような方法でスタジアム周辺を活性化させていくのかも議論できるとよい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・引き続き検討会の中で合わせて議論できると良い。

【牧田委員】

- ・スタジアムの規模についてどのタイミングで議論するのか。例えば今後の議論で、ワールドカップにも対応できるスタジアムが必要となった場合、検討する必要面積が変わる可能性もある。

【事務局（久野井補佐）】

- ・3.5haしかない土地ではご指摘された面積の問題は出てくる。ただ最低水準として3.5haと考えているため、それ以上の面積の候補地も検討に入る。

【牧田委員】

- ・後からより大きなスタジアムが必要となる可能性もでてくると、後戻りしてしまう。そうならないためにも先に早い時期に規模を決められると良い。
- ・サッカー協会の立場から申し上げますと、数年来、国際大会規模のスタジアムの建設を行政にお願いしている。天皇杯の準々決勝以上になるとエスパルスが勝ち上がったとしてもIAIスタジアムで出来ず、A代表の試合も出来ない。モチベーションにも影響する。
- ・サッカー界では、ワールドカップを静岡でやりたいという要望は前回2002年大会以前から強いものがある。アジアで開催される2034年大会でワールドカップの日本招致が実現した場合、新スタジアムが候補地になれば、静岡県では開催できる会場が無くなってしまう。規模については然るべきタイミングで十分に議論してもらいたい。

【事務局（久野井補佐）】

- ・今回は3.5ha以上を要件として定めているが、規模についてはいずれ議論していく必要がある。

【木宮会長】

- ・クラス S のスタジアムを否定しているものではない。4 万人規模なら 10ha 程度の土地が必要であり、その規模の土地が静岡市内にあれば候補地として検討する。
- ・そもそも土地がなければ、現実的にスタジアムは立てられないため、候補地を見ながら議論をすることになる。

(3)-2 市民・利用者アンケートについて

【事務局（久野井補佐）】

- ・市民・利用者等アンケートについて説明（資料 3）

【内海委員】

- ・スタジアムの稼働率が低いという状況もあり、まちづくりの観点で利用者がスタジアム以外でどこに寄っているのか、何にお金を使っているのかなど行動を聞く設問があると良い。

【山室委員】

- ・スタジアムの複合化はサッカー以外での消費を促すこととなる。行政として大きな投資をする以上、投資効率という点において、分散するのではなく一か所に施設をまとめて、多くの人がワンストップに楽しめる施設になると良い。

【木宮会長】

- ・現状はスタジアムに注目した設問が中心になっているが、周辺のまちづくりに関しての設問を追加いただくと委員会でも議論がしやすくなる。

【事務局（久野井補佐）】

- ・まだ、スタジアムの整備主体が決まっていない。そのため、どのような機能を持たせるかについても、今後決まっていくものではあるが、設問 6（サッカースタジアムの周辺施設）で確認する。

【木宮会長】

- ・設問 6（サッカースタジアムの周辺施設）の選択肢にはもう少し詳しい情報を加えてほしい。例えば公共施設が何を指しているかわかりづらい。各項目の具体例が示されると良い。

【黒瀬委員】

- ・利用者アンケートについては全国の様々なスタジアムに行った経験があるサポーターのような方に実施するのがより良い情報を得られる。
- ・複合施設や周辺のまちづくりについて議論があったが、最終的には事業者が判断するものである。スタジアムの建設についても事業者と連携するのであれば事業者の意向も重要である。そのため、現時点では規模も含め決めすぎない方が良いと考える。

【事務局（久野井補佐）】

- ・事業主体や事業手法は様々な情報を整理しながら今後詰めていく。黒瀬委員の発言にもあったが、現段階で詳細は決めない方向で考えたい。

【菅委員】

- ・アウェーの観戦頻度を確認する設問があって良い。
- ・また、今の IAI スタジアムにおける消費額は今後も新しいスタジアムにおける経済波及効果を検討するうえで重要な情報となる。

【木宮会長】

- ・今までの議論を踏まえてアンケートを修正し、再度委員の方々とやり取りをして最終版を作成するという流れで問題ないか。

【事務局（久野井補佐）】

- ・問題ない

【佐藤委員】

- ・過去 30 年間ににおける IAI スタジアムでの J リーグ公式試合への来場者数は延べ 681 万人、静岡市民ひとり 10 回相当にものぼるため、利用者アンケートは十分意義があるものだと思う。
- ・市民アンケートにおける設問 4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカーに関心がない人、スタジアムに行ったことがない人は回答しづらいと考えられる。サッカーに関心がない人が回答しやすいよう、サッカースタジアムにどのような機能を望んでいるのかなど、まちづくりの観点から質問するべきではないか。

【桂田委員】

- ・ミクニワールドスタジアム北九州では、サッカースタジアムに来る頻度の質問をすることで、サッカーに関心がない人がスタジアムにどのような機能を求めるのかという意見を抽出することができた。
- ・スタジアムを活かしたまちづくりを検討する会議であるため、関心がない人が求める機能がどのようなものなのか質問してみてもいいかもしれない。

【事務局（久野井補佐）】

- ・サッカーに興味関心が無い方にとって、スタジアムに何を期待するのかという質問は難しくなってしまうのではないかと心配している。候補地が決まってからでも良いのか、現段階から聞いた方が良いのか悩ましい。

【佐藤委員】

- ・自由記載も賛成だが、サッカー愛好者以外の方にも意見を貰える質問にしなければいけない。

【桂田委員】

- ・北九州市のアンケートの時は、サッカーファンは臨場感やスタジアムがまちのシンボルになることを重視していたが、興味関心が無い市民からは、観光のシンボルになって欲しい。サッカー以外のコンサートなどにも使えると良いという意見を貰えた。ので、サッカースタジアムが必要かどうかという質問は無くても良いと考えるが、自由記述でも回答方式でも良いので、興味関心が薄い方がスタジアムにどんな機能があると良いと考えているのかという質問はあってもいい。

【菅委員】

- ・新たなサッカースタジアムが必要かどうかという質問をするという考え方もあるが、一人一人がイメージするサッカースタジアムが異なり、それによって回答も大きく変わるので、ミスリードになりかねない怖さがある。
- ・設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカースタジアムの建設ありきのような設問にも見えるので、「仮に新しいサッカースタジアムが出来るとしたら」といった枕詞を入れ、サッカー以外でどのような機能があると良いか質問してはどうか。

【事務局（鈴木課長）】

- ・サッカースタジアムの必要性に関しては、今のスタジアムが様々な課題を抱えていることから検討が始まっているものであり、ゼロからイチを生み出すというものではない。今のスタジアムの改修も含め検討していくというものだと考える。
- ・サッカーに関心がない人の意見も重要だと考えている。質問項目については頂いたご意見をもとにまた相談させていただきたい。

【木宮会長】

- ・設問4（サッカースタジアムに望むもの）はサッカーに関心が無い方が、優先順位をつけるのは難しいと考える。例えば、それぞれを1点～5点で評価するというやり方もある。

【佐潟委員】

- ・利用者アンケート設問 7（おすすめのスタジアムとその理由）について、何を重視したおすすめのかわかりづらい。またこの形式だと1つのスタジアムしか書かれないのでは。
- ・8月20日と8月27日に開催される試合で利用者アンケートを実施することだが、両チームとも日帰りか宿泊かを選べる距離なので試合前後の行動を把握するという観点では非常に良いと思う。

【風岡委員】

- ・利用者アンケート設問 7（おすすめのスタジアムとその理由）について、本来は良くない部分も聞いた方がいいのかもしれないが、本項目はあくまでも参考情報と認識している。

【事務局（久野井補佐）】

- ・認識の通り、本設問は参考情報の位置づけである。今後の検討で必要になれば具体的に調査していく。

【木宮会長】

- ・アンケートについては本日の議論も踏まえて検討いただく。実施に向けて最終版を作成いただきたい。

(4) その他

【事務局（久野井補佐）】

- ・第3回検討委員会については10月3日、第4回検討委員会については10月下旬に実施予定である。追って日程調整のご連絡をする。

(5) 閉 会

【事務局（鈴木課長）】

- ・閉会

以上

(署名) 会長 木宮 敬信